

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年9月29日

【評価実施概要】

事業所番号	3871000414		
法人名	有限会社 土香里		
事業所名	グループホーム 土香里		
所在地	伊予市大平字片山甲225-1 (電話) 089-983-6080		
管理者	久保 早苗		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年9月3日	評価確定日	平成20年9月29日

【情報提供票より】 (平成20年8月20日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成16年10月21日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	19人	常勤	13人, 非常勤 6人, 常勤換算 16.2人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	38,000円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	250円	昼食 350円
	夕食	550円	おやつ 円
	または1日当たり 円		
(3)利用者の概要 (平成20年8月20日現在)			
利用者人数	18名	男性 3名	女性 15名
要介護1	4名	要介護2	4名
要介護3	6名	要介護4	4名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 79.8歳	最低 64歳	最高 91歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

窓から山や川を眺めることができ、季節の移り変わりや今日のお天気をいち早く知ることができる。玄関先に、来訪する方への気遣いの言葉を示し、装飾も温かみがあり、掃除もきれいにされていた。メダカや鈴虫を飼っておられる。
 昼食後、玄関先の縁台で職員とおしゃべりを楽しんでおられる方もうかがえた。庭の草引きをされたり、洗濯物たたみ等もされている。又、お手紙を書かれたり、新聞の投稿欄に出す原稿を作っておられる方もうかがえた。又、ご家族のために、般若心経をあげてを日課にされている方もうかがえた。
 季節の花を楽しみに出かけられたり、地域行事やドライブ等にもよく出かけておられる。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
・この一年間、地域との関係作りや外出支援等に、特に力を入れて取り組まれた。
今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
・評価項目を割り振り、ユニット毎に自己評価に取り組まれ、管理者がまとめられた。管理者は、自己評価を作成時、職員のグループホームへの理解を深めたいと感じられた。
運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
・近所の方にも出席いただき、利用者、職員の名前と顔を覚えていただけるよう取り組まれている。又、ご家族と近所の方ともつながりが持てるよう、すすめておられる。会議は、会場を別に借りて行われており、お弁当やコーヒーを飲食しながら、意見が出やすい雰囲気作りに努めておられる。
家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
・ご家族からの意見は、直接口頭で聞き取ることが多い。法人代表者は、ご家族からのご意見を受けた場合、職員に必ず伝え、改善に向けて話し合うようにされている。この度、ご家族から職員のケアについてご意見をいただき、改善と質の向上に向けて、勉強会を行うこととされた。
日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
・ご近所の方のお付き合いは日常的に行なわれており、時に訪れ、一緒に食事をされることもある。又、「ほたる祭り」を開催される等、地域の方に喜んでいただけるようなイベントも行われている。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム 土香里

(ユニット名) 木の花

記入者(管理者)

氏名 久保 早苗

評価完了日 平成 20年 8月 20日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 土香里理念とは別に、ユニットごとに職員が理念を考え、ユニットらしい理念になったと思う。また、理念に基づき、ユニットごとに、月単位の目標を立てている。		
			(外部評価) 理念に、ご近所付き合いを大切にすることを掲げて、実践されている。又、ユニット理念を作成し、さらに月単位で目標を掲げておられる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念の実践のため、共に努力している。カンファレンスや、ミーティング、施設内勉強会にて、具体的ケアについて、理念に基づき統一をはかることができるよう取り組んでいる。		職員が、理念に基づきケアが実践できているかなど定期的に個別に確認の必要がある。
			(外部評価) 理念を玄関に掲げ、ユニット理念を共用空間に掲げておられる。		さらに、事業所では職員で意識統一を図り、チームケアに取り組みたいと考えておられる。事業所の目指すことを職員で共有できるよう、体制作りについて再検討が期待される。
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議を利用し、理念の発信を行っている。また法人代表が地域住民の一員として常会に出席し、施設の取り組みなどについても理解していただけるよう発信している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) ご近所から野菜を頂いたり、一緒におやつを作ったりの機会があり、気軽にご近所つきあいが出来ている。		職員の顔を覚えていただくためにも、気軽に声をかけていきたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 法人代表が、地域の常会や組内の役員として、御祭り、掃除、冠婚葬祭のお手伝いなどに積極的に参加している。地域のイベント、地元商工会で催されるイベントにも参加している。近くの小学校児童との交流もある。 (外部評価) ご近所の方とのお付き合いは日常的に行なわれており、時に訪れ、一緒に食事をされることもある。又、「ほたる祭り」を開催される等、地域の方に喜んでいただけるようなイベントも行われている。		
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) ご近所の方から、電話や来所にて、時々介護相談を受ける機会があり、対応している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 昨年の外部評価で、改善を出来るところから実行している。自己評価はカンファレンスなどで職員全員で話し合い、早急に改善できることは改善実行している。 (外部評価) 評価項目を割り振り、ユニット毎に自己評価に取り組み、管理者がまとめられた。管理者は、自己評価を作成時、職員のグループホームへの理解を深めていきたいと感じられた。この一年間、地域との関係作りや外出支援等に、特に力を入れて取り組まれた。		改善したことを、継続し統一していくことが課題である。 さらに、評価結果やご家族のアンケートの集計表等を活用した取り組みが期待される。一つひとつ、ちょっとずつ取り組み、事業所のさらなる質の向上につなげていかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			スライドを活用し、活動や取り組みの報告を行っている。家族やご近所、市の担当職員の方の参加も多く、色々な意見交換が出来る場となっている。参加できなかった方に対しても、議事録を送付している。		会議に参加する土香里のスタッフがいつも同じメンバーになってきているので、皆が参加できるようにしていきたい。
			(外部評価)		
			近所の方にも出席いただき、利用者、職員の名前と顔を覚えていただけるよう取組まれている。又、ご家族と近所の方ともつながりが持てるよう、すすめておられる。会議は、会場を別に借りて行われており、お弁当やコーヒーを飲食しながら、意見が出やすい雰囲気作りに努めておられる。		現在、出席者からの意見は少ないようである。今後、出席者のご意見をうかがいながら具体的な意見交換ができるよう、会議のすすめ方の工夫を重ねていかれてほしい。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			相談がある場合は電話や訪問にて問題解決できるよう取り組んでいる。また、市や社協の勉強会にも積極的に参加している。		モデル地域の一員としてサービス向上に今以上努めていきたい。
			(外部評価)		
			市は、現在、認知症地域支援体制構築等推進事業モデル地区に指定されており、活動のアピールに協力をされている。又、県GH協議会主催の研修に、市の職員も参加いただけるよう働きかけておられる。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			法人代表や管理者は理解しており、相談にも乗っているが、職員は学ぶ機会を持っていない。		職員が学ぶことができるよう権利擁護に関する資料を閲覧できるようにした。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			カンファレンスで虐待の事例や知識を持つことで、防止徹底に努めている。		職員が学べる勉強会の継続が必要。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時には、理念やケアに関する取り組みを事例などをあげ詳しく説明するようにしている。家族側の不安点、疑問点については納得できるまで施設見学をしていただき、その時に話し合い、理解、納得を図っている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 何気ない日常会話の中で、利用者の思いを察する努力をしている。利用者の不満や意見がある場合は、話し合いやモニタリングを重ね予防に努めている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 健康状態に異変があれば、すぐに電話連絡をしている。金銭（お小遣い）については、月の収支表を作成すると共に、法人代表が各入居者の方の生活状況を個別に手紙を書き、利用料請求時に、同封し送付している。職員の異動については、運営推進会議にて報告を行っている。		家族によって、連絡してもらいたい体調異変の程度が異なる（施設から電話がかかると不安になる）ため、個別にきめ細やかな取り決めが必要である。
			(外部評価) ご家族の来訪時や電話で、ご本人の様子を伝えておられる。又、事業所たよりを作成して、ご家族に送っておられる。		ご家族の知りたい情報を定期的に知ることができるような報告の工夫も期待される。又、運営推進会議の取り組みの経過や職員のケアの取り組み等、事業所で特に力を入れていること等についても、ご家族に報告されてはどうだろうか。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 面会時に法人代表や職員へ意見、苦情があれば伝えていただいている。また、言い難い場合は、苦情窓口として、国保連、市担当課の電話番号を書面で伝えており、施設玄関に意見箱を設置している。		
			(外部評価) ご家族からの意見は、直接口頭で聞き取ることが多い。法人代表者は、ご家族からのご意見を受けた場合、職員に必ず伝え、改善に向けて話し合うようにされている。この度、ご家族から職員のケアについてご意見をいただき、改善と質の向上に向けて、勉強会を行うこととされた。		さらに、ご家族同士が交流したり、意見交換等を行う機会作り等も期待される。ご家族の意見がさらに出しやすくなるような仕組み作りが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 法人代表や管理者も、現場で職員と肩を並べ一緒に介護しているため、同じ目線で意見を出し合い、情報を共有している。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 職員同士の臨機応変な話し合いによって、迅速に勤務調整できている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 退職者が出た場合以外は、移動のないようにしている。担当制により、利用者の状態を詳しく把握出来るように努めている。		
			(外部評価) 新人の職員は、ユニットのリーダー職員に付いて学んでおられる。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 外部の研修など、勤務を調整しながら機会をみつけて参加している。		年間を通じ、一ヶ月に一回程度開催されるグループホーム協議会への研修に参加している。
			(外部評価) 職員の自己評価を実施し、職員個々が自分のケアについて振り返られた。事業所内の勉強会は月に1回以上開催し、外部の講師を招き、お話いただくこともある。又、外部研修にも出席して学んでおられる。		さらに、今後、事業所では事例検討を通じて、職員で活発に意見交換を行い、職員のケアについての意識統一を図りたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	<p>同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	(自己評価)		
			<p>職員がグループホーム間の相互評価にも積極的に参加し、良いところは見習いながら、サービスの向上に取り組んでいる。</p>		
			(外部評価)		
			<p>法人代表者は、県GH協議会の役員をされており、他事業所と交流されている。又、職員も外部研修等に出席し、他事業所とともに学んでおられる。</p>		
21		<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>法人代表が、職員と同様の勤務につき、精神的負担の大きい仕事内容を把握し、職員と共に検討し、改善に努めている。</p>		<p>休憩時間を設けているものの、完全に勤務から外れることのできる休憩時間の確保ができていない。</p>
22		<p>向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	(自己評価)		
			<p>法人代表が職員同様の勤務につき、勤務に関する提案を職員共に検討し、まずは実行できるように心がけ、それぞれの職員の意見を尊重している。</p>		
<p>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
23		<p>初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	(自己評価)		
			<p>必ず入居前に利用者本人に来所していただき、職員や他の入居者とのコミュニケーションを図ったうえで、入居を決定している。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		<p>初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>法人代表自身も介護経験があるため、悩み、不安を共有しやすく、親身な話ができ信頼関係が築けているように思う。</p>		<p>ホーム側だけでなく、もう少し、家族の協力を得て、一緒に利用者の方を支援したい。</p>
25		<p>初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>相談時に利用されている他の事業所とも、連絡、連携をとり、対応している。</p>		
26	12	<p>馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居相談時に、本人、家族に見学に来ていただき、気に入った上で入所の受け入れをしている。</p>		
			<p>(外部評価)</p> <p>ご家族、ご本人に事業所に見学に来ていただき、雰囲気を味わっていただいている。山や川があり、事業所内が明るいことを気に入り、入居に至ることが多い。</p>		
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>					
27	13	<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一緒に外出して感動を共有している。漬物の漬け方や、農作業の指導など得意分野を職員が頼りにしている。</p>		
			<p>(外部評価)</p> <p>山菜のあく抜きを教えていただいたり、よもぎまんじゅうの作り方を教えていただくこともある。職員は、利用者が入院し、その後、退院して事業所に戻ってきた時に、覚えていてくれたことに深く感動されていた。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時には、本人の日々の様子やエピソードなどを伝え、体調や言動などから今後、支えていく上で必要な情報を共有している。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人の思い家族の思いを傾聴し、対応している。日頃、来れない家族に対しては、代表より、手紙や電話にて近況などお伝えしている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 本人にとって懐かしい場所へ、ドライブに言ったり、昔からのかかりつけの病院などへの受診を優先している。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の関係も、職員が把握し、グルーピングによりトラブルを未然に防ぐようにしている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退去された方にも、イベントや季節の便りなど送付したりしている。退去された家族さんも、気軽に来所してくださっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			出来る限り、本人に聞くよう対応している。又、普段の何気ない会話からも気付いたことがあれば書きとめ、把握するようにしている。		
			(外部評価)		
			利用者とかかわりながら、ご本人の意向の把握に努めておられる。		日々の利用者とかかわりの中から、ご本人の暮らし方の希望や意向を探り、得た情報を蓄積して、ご本人の思いのさらなる把握に努められてはどうだろうか。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			本人、家族などの会話からも新しい情報など、聞き漏らさないよう気をつけ、又、新しい情報は職員間で共有出来るよう申し送っている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			利用者個々の一日のリズムで、希望通り過ごしていただけるよう対応している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			必要に応じて開かれるカンファレンスにおいて、活発な意見交換でのアイデア、意見を大切に検討し、ケアプランに対応させている。		
			(外部評価)		
			担当職員がご本人やご家族の希望を聞き取り、カンファレンスで職員で話し合い、介護計画を作成しておられる。		その人らしさがうかがえるような計画作成も期待される。さらに、ご家族とも相談しながら、利用者個々の生活の質向上が出来るような計画を作成できるよう、取り組みをすすめていかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			現状に即してケアプランを立て、身体低下など見られた場合は、随時、ケアマネジャー、担当者が話し合い変更するようにしている。		
			(外部評価)		
			3ヶ月毎の見直しと、状態変化時には随時見直しを行っておられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			日々の記録と共に、気付いたことを自由に書き留めるよう書式を定めず、常に新しい情報を共有できるようにしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			個々の希望、必要に応じ買い物、外食など、職員と一対一での外出を取り入れている。		
			(外部評価)		
			病院の受診時、職員が同行されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地元の小学校との交流、イベント時には趣味のサークルの方などにボランティアをお願いし、交流を図っている。防災訓練では、ご近所の方にも参加して頂いている		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 口腔ケアや訪問マッサージに定期的又必要に応じて来ていただけるよう現在話を進めている。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 協働の事例はない。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人が行きなれた病院、家族の希望された病院へ職員がお連れしている。 (外部評価) ご本人ご家族の希望する医療機関を受診できるよう支援されている。受診時は、職員が同行され、ご本人の様子を医師に伝え、連携が図れるよう努めておられる。又、状態によって、往診可能な医療機関に変更される場合もある。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 本人が行きなれた病院を受診して頂き、日常の言動、行動など、治療に必要な情報を提供し、診断に基づき日々の介護にも利用している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 施設内勤務の看護師と日常的に相談している。利用者の日々のバイタルは、毎朝決まった時間、及び必要に応じ測定している。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 緊急時又、入院した場合、10日前程度のバイタル、健康状態をパソコン出力し、搬送時、受診時に担当医に情報提供をしている。また、介護情報提供書も届けるようにしている。退院時においては、病院相談員と連携を取りスムーズに移行出来るよう対応している。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 常に医師に連絡が取れるよう体制をとり、急変時には対応できるようにしている。又、必要に応じ、カンファレンスを行い、方針の共有に努める。 (外部評価) 運営推進会議時に、事業所での看取りの指針について説明をされた。話し合いが必要な場合には、職員が集まり、今後の対応について相談するようになっている。		事業所ではどのような支援ができるのか、ご家族の協力、医療機関との連携体制等、ご家族も気になることでもあり、早い段階から繰り返し話し合いを行われることが期待される。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 日常から利用者本人の意向を取り入れ、後悔しないために利用者から出た小さな希望もユニット職員全員で共有し、カンファレンス時に検討している。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 利用者の担当職員、ケアマネジャーと法人代表により、新しい居所の介護者の方と情報交換を行い、ダメージの防止に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一人ひとりにあった声掛けをするよう心がけているが、耳の遠い方が多く、大きな声によりプライバシーを損ねるよう受け取られがちな面がある。</p>		<p>耳の遠い方には耳元でそっと告げるなど配慮し、統一、対応している。</p>
<p>(外部評価)</p>					
<p>入居時にご本人の呼び方を聞き、そのように対応されている。時に、職員の話し声や対応に「個々の尊重」という点から気になる場面が見受けられた。</p>					
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>その都度説明し、会話するよう心がけている。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一人ひとりのペースを大切に支援するよう心がけているが、急な受診などにより希望に添えない場合がある。</p>		<p>ユニット間の連携を図り、更なる柔軟性を身につけたい。</p>
<p>(外部評価)</p>					
<p>昼食後に居室で休まれる方や、玄関先の縁台で職員とおしゃべりを楽しんでおられる方もうかがえた。</p>					
<p>さらに、職員は、ご本人の自信や意欲を引き出すようなかわり方の工夫を、されてみてはどうだろうか。</p>					

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) おしゃれに関して、自立に近い方は、朝、着替え時に本人に聞いて、選んでいただいている。身だしなみに関して、ボタンの取れたものなど必ずチェックしている。理容については、月に一度、カットサロンより来て頂き対応している。		髪の毛の長さ、デザインを個々の方に聞いてカットをお願いしている。お話しの中で、行きたい理美容があれば対応していきたい。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者の方と、ゆっくりテレビを見たりしながら、又会話しながらの食事を心がけている。又、食事の準備、お盆拭きなどをその方の能力に応じ対応している。 (外部評価) 職員は、食事作りの際、利用者の状態に合わせて食材をやわらかくされたり、切ったりされており、薄味等にも気を付けておられる。		時に、ご家族も一緒に食事する機会を作ってみてはどうだろうか。具体的なお意見やアイデアをいただきながら、さらに食事支援についても質を高められてほしい。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 希望があれば、外出し、嗜好品を買い楽しんで頂いている。又、おやつに関しては手作りを心がけている。		おやつに関しては、利用者と共に作る機会をもっと増やしたい。
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 各利用者の排泄パターンを把握しているつもりでも、失禁していることがある。		もっと様子観察を行い、失禁をなくしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			入浴時間は決めておらず、午前、午後にかけて対応している。		
			(外部評価)		
			ラジオを聞きながら、入浴を楽しまれる方もおられる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			一人ひとり、入眠時間が違う。眠くなるまでリビングで過していただけるようにしている。休息に関しては、疲れている方には、日中も布団で横になって休むことができるよう対応している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			外出を多く取り入れ又、個々の外出も積極的に取り入れている。同じ役割を共同することが困難な方には、時間をずらして個々に対応するなどトラブルを避けるようにしている。		
			(外部評価)		
			庭の草引きをされたり、洗濯物たたみ等もされている。又、お手紙を書かれたり、新聞の投稿欄に出す原稿を作っておられる方もうかがえた。又、ご家族のために、般若心経をあげることを日課にされている方もうかがえた。		さらに、利用者一人ひとりの楽しみ事や張り合いを探ることに努められ、利用者個々が喜びのある日々を過ごせるよう、職員が一丸となって取り組まれることが期待される。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			常時持っておられる方は、外出時、楽しんで使われている。又、他の方も外出などの際、必要に応じ、使えるよう援助している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			週2回は、利用者全員に声掛けし、外出を施行している。又、本人の希望により、マンツーマンにて買い物などの外出をしている。		
			(外部評価)		
			季節の花を楽しみに出かけられたり、地域行事やドライブ等にもよく出かけておられる。外食に出かけられたり、受診の際に、ご自宅に立ち寄られることもある。		さらに、日常的に庭を活用できるよう工夫を重ね、利用者の生活を拡げていかれてはどうだろうか。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			頻回には実施できていないが、受診の帰りなどを利用し自宅に寄ったりしている。		近隣に限られるが、思い出の地めぐりなど希望され、対応している。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			本人の希望により支援している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			いつでも気軽に訪問でき、時間を気にせず過ごせるよう工夫している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束委員会を月一回で実施し、カンファレンスの時に報告しているが、職員全員が理解しているかは解らない。家族の希望があり、本人の安全のため、四本柵を使用している方がおられる。		家族側の希望については、慎重に検討し職員の方針を統一していきたい。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) どんな事があろうと鍵はかけていない。職員全員が理解している。スピーチロックは、勉強会やカンファレンスなどで話し合っているが、理解できていない職員もいる。		
			(外部評価) ユニット入口にも鍵をかけず、自由に出入りできるようにされている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員がリビングに必ず一名以上は居るようにし、職員同士声掛けしながら、利用者の居場所の把握に努めている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 誤飲の可能性のあるものは目の届かない場所に保管してあるが、危険性のない方には、分かるようカーテンをしたりして工夫してある。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故防止に取り組んではいるものの同ケースの事故が多い。		観察力を身につけていき、職員間で細かい情報を共有し、事故を無くしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 救命救急の講習はしていない。		年内には実施する予定。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防署の協力を得て、通報訓練、避難訓練を実施している。地域の方に日頃より協力をお願いしている。 (外部評価) 避難訓練実施時には、階段を使った避難の仕方について、消防署の方よりアドバイスをいただいた。		
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 起こりうるリスクに対して、個別に家族と話す機会を持ち対応策を検討している。必要であれば、担当医を交えて話をしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝、決まった時間にバイタル測定を行っている。異変時には、法人代表、管理者に速やかに報告を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 副作用など、すべて把握できないため、処方箋を個別ファイルに保管し、いつでも確認できるようにしている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 毎朝の便の具合によって、個別に、牛乳の摂取や朝のおやつのヨーグルトを心がけている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後に声掛けをし、出来る限り、ご自分でしていただき、後、職員がしっかりと仕上げ磨きをさせていただいている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一日の栄養摂取総量を栄養士が計算し、献立をたてている。また、摂取量も記録し、全職員が把握できる。水分摂取量が制限されている利用者や水分摂取量が少ない利用者については、個別に把握できるように水分量も記入している。 (外部評価) 栄養士資格を有する職員が献立を立てておられる。毎日の食事メニューを共用空間に掲示されている。職員は、食事時にお茶のお代わりを促しておられた。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 日常でペーパータオルを使用し、毎日の掃除はアルコールを使用している。他施設で感染の情報があれば、早急に感染対策マニュアルをリビングに貼るようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食器は、乾燥機を利用して殺菌している。また、食器は買い置きせず、在庫をチェックした上で、二日に一度買い物に行っている。布巾も毎回、漂白し清潔にしている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関は日中開けておき、出入り自由になっている。玄関先にはプランターを置き、近所の方が花を植えてくれる。また、玄関先の縁台で、職員、利用者、近所の方が時々お茶を飲む。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>季節感が味わえるように、飾り付けをし、目の不自由な方には風鈴などの音によって季節を楽しんでもらっている。グリーンをたくさん置く、朝顔を植えたりして季節を楽しんでいる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>窓から山や川を眺めることができ、季節の移り変わりや今日のお天気をいち早く知ることができる。玄関先に、来訪する方への気遣いの言葉を示し、装飾も温かみがあり、掃除もきれいにされていた。メダカや鈴虫を飼ってられる。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>リビングの一角に丸テーブルと長椅子を置いて、充分活用していただいている。たたみの間に熱心にテレビを見られる方もおられる。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			利用者が使い慣れたものを、家族から持ってきていただいたり、取りに伺ったりしている。電気製品の持込自由で、棚をつけるのも自由と言うことも説明してある。		
			(外部評価)		
			窓からは外の景色が眺められる。自宅で飼っておられる猫の写真を、壁に飾っておられる方もうかがえた。自宅で使用されていたタンスやポータブルトイレ、テレビも準備されていた。又、自分で折った花や蝶の折り紙を壁に飾っている方もあった。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			換気に努めているものの、臭いが気になるときがある。		色々な消臭案を試していきたい。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			トイレや廊下には手摺りを設置している。夜間歩行が不安定な利用者のために、椅子をトイレ横に置き、手摺り代わりにしたり、廊下中央に置いたりして工夫している。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			混乱状況が続く場合には、本人の欲求を受け入れ、不安を取り除くため、原因をカンファレンスで話し合っている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			庭の畑で利用者と野菜を植えたり、玄関先でおやつを食べたり、さんまを焼いたりして楽しんでいる。たまに縁台で昼寝もしている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 2 利用者の 2/3 くらいが 3 利用者の 1/3 くらいが 4 ほとんど掴んでいない	何気ない日々の会話の中から、思い、願いを受け止めるよう努力している。しっかり把握できるには至っていないと思う。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に 1 回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	一日のうち、ゆったりと談話をする機会がある。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の 2/3 くらいが 3 利用者の 1/3 くらいが 4 ほとんどいない	時間などの決まりごとはないため、自由な時間を自由に過ごされている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の 2/3 くらいが 3 利用者の 1/3 くらいが 4 ほとんどいない	外出の機会やレクレーションの中で、生き生きとした表情、言動を見ることができる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ② 利用者の 2/3 くらいが 3 利用者の 1/3 くらいが 4 ほとんどいない	個別に外出できるよう対応しているが、急な希望などは、対応できない場合もある。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の 2/3 くらいが 3 利用者の 1/3 くらいが 4 ほとんどいない	毎日のバイタル測定時には、異常がないことをしっかり伝えている。体調不良時には、迅速に病院受診している。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の 2/3 くらいが 3 利用者の 1/3 くらいが 4 ほとんどいない	時間にとらわれず、要望があれば対応している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ② 家族の 2/3 くらいと 3 家族の 1/3 くらいと 4 ほとんどできていない	面会に来られる家族は多く、職員との会話も多い。何かあれば、担当職員が電話にて迅速に対応するようにしている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ① ほぼ毎日のように 2 数日に 1 回程度 3 たまに 4 ほとんどない	家族やご近所の方が、よく訪ねてこられる。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	①大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	幅広く参加していただいている。意見交換も活発である。
98	1 ほぼ全ての職員が (自己 ②職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	完全に業務を離れての休憩時間の確保ができていない。
99	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ②利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ここに入ってよかったと言っている。利用者同士の些細なトラブルはみられる。
100	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ②家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	気になる点があれば気軽に言っているが、すべての方がそうではないと思う。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

「自由な日々の中で、楽しみ感動を共有し、和やかな生活を支えています。」「古き良き昔ながらの、ご近所付合いを大切にしていきます。」「とにかく日々の中で様々な疑問が出てきますが、そんな時には、少し立ち止まり、これらの理念を見つめ直すことにしています。また、福祉有償運送、高齢者疑似体験研修の普及に力を入れ、地域力の向上に取り組んでいます。